

兵庫大学

Microsoft 365
インストールマニュアル

2022年4月1日

1. 利用条件および誓約事項

ライセンスソフトウェアの利用にあたっては、必ず利用条件及び誓約事項を熟読し、遵守してください。

利用条件

利用対象	・学生（科目等履修生は除く） ・専任教職員
インストール可能な機器	個人のPCなど利用者が特定されているPC・タブレット・スマートフォンのそれぞれ5台ずつ（合計15台）
利用目的の制限	教育、研究、大学業務
利用期限	兵庫大在籍期間

誓約事項

- 利用者は、ライセンスソフトウェア（以下、「ソフト」）の利用及び管理に関して充分留意し、万一、利用条件及び誓約事項に反する行為を行った場合は、すべてのソフトについて削除すること。
- 利用者は、借用したソフトの複製、転貸及び改ざんを行わないこと。
- 利用者は、ソフトをインストールした機器を管理し、インストールしたすべてのソフトについて必ず利用期限までに削除すること。
- ライセンス契約の終了などにより、大学がライセンスを失った場合、利用者によってインストールしたすべてのソフトウェアを速やかに削除すること。
- 卒業や退職などにより利用資格を失った場合、利用者によってインストールしたすべてのソフトウェアを速やかに削除すること。
- インストール作業は利用者の責任により行い、インストール後に発生したトラブルは利用者の責任において対応すること。大学はその責任を負わない。

2. ソフトウェア概要

Office365 とは Microsoft 社が提供するクラウドサービスで、最新バージョンの Office をダウンロードして利用できます。

利用可能ソフトウェア、注意事項

利用可能なソフトウェア	【Windows】 Word、Excel、PowerPoint、OneNote、Access、Publisher、Outlook、InfoPath 【Mac】 Word、Excel、PowerPoint、Outlook、OneNote
注意事項	インストールした Office は、インターネット経由で 30 日に 1 度ライセンスの確認が行われます。ライセンス認証に失敗すると、一定の猶予期間後、Office の利用が制限されます。

バージョン、対応 OS、動作環境

バージョン		最新バージョンの Office	
動作環境	Windows	11 / 10 / 8.1	詳細は、 Office のシステム要件 の、「Office 365 サブスクリプションのプラン」の中の「一般法人向け、教育機関向け、政府機関向けの Office 365 プラン」項目を参照のこと
	Mac	最新の 3 つのバージョン	
	モバイル	・ iOS 11.0 以降の最新の 2 つのバージョン ・ Android	

3. インストール方法

Office365 のサインインに用いる ID とパスワード

サインイン ID、パスワード

サインイン ID	学生	兵庫大学のメールアドレス (学籍番号@ed.hyogo.dai.ac.jp)
	教職員	兵庫大学のメールアドレス (●●●●@hyogo-dai.ac.jp)
パスワード	メール利用時のパスワードと同じ	

Mac PC の場合

インストールが完了後、アプリケーションからソフトウェアを起動すると、サインインの画面が表示されます。サインイン ID、パスワードを入力してサインインすると完了です。

iOS デバイス (iPhone または iPad) の場合

- ① iOS 版 Office アプリは、「Apple App Store」から Word、Excel、PowerPointなどを個別にダウンロードします。
- ② 任意の Office アプリをタップして起動します。
説明を読んだ後、[サインイン] をタップし、サインイン ID、パスワードを入力してサインインすると完了です。

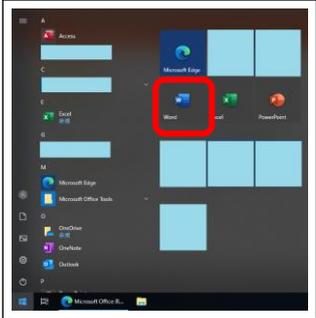
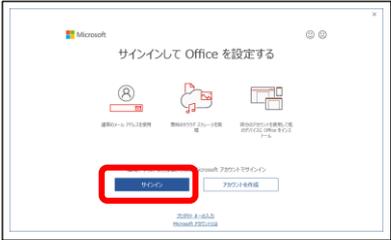
Android デバイス (携帯またはタブレット) の場合

- ① Android 版 Office アプリは、「Google Play ストア」で Word、Excel、PowerPointなどを個別にダウンロードします。
※ インストール時に「デバイスに互換性がありません」とエラーが発生した場合、デバイスがシステム要件を満たしていないか、またはデバイスが現時点でサポートされていないため、利用できません。
- ② 任意の Office アプリをタップして起動します。
説明を読んだ後、[サインイン] をタップし、サインイン ID、パスワードを入力してサインインすると完了です。

4. ライセンス認証方法

「Office365」の利用を始めるにあたって、ライセンス認証を行う必要があります。この認証は、「Office365」のどのアプリからもできますが、今回は「Word」を例に行います。

Windows PC の場合

No	説明	画面
1.	<p>「Word」を起動します。</p> <p>左下の「スタートボタン」を押して「スタートメニュー」の Word をクリックします。</p> <p>※表示されていない場合は、「W」の欄の「Word」をクリックします。</p> <p>※見つけれなければ、スタートボタン横の検索ボタンをクリックし、「Word」と入力して検索します。</p>	
2.	<p>「サインインして Office を設定する」画面が表示されるので「サインイン」をクリックします。</p>	

No	説明	画面
3.	<p>「Office ライセンス認証」画面が表示されるので「サインイン ID」を入力して「次へ」をクリックします。</p> <p>「パスワードの入力」画面で「パスワード」を入力して「サインイン」をクリックします。</p>	
4.	<p>「組織がデバイスを管理できるようにする」の「チェックマーク」をはずして、「OK」をクリックします。</p> <p>「完了」をクリックします。</p>	
5.	<p>右の画面が表示された場合は「同意する」をクリックします。</p> <p>「完了」をクリックします。</p>	
6.	<p>Word が起動し  で囲まれた部分にメールアドレスが表示されたことを確認して Word を閉じます。</p>	
7.	<p>スタートメニューから Word を起動します。  の部分に名前が表示され利用できるようになります。</p>	

注意事項

インストールした Office は、インターネット経由で定期的（30 日毎）にライセンス認証の確認が行われます。通常は自動的に行われるため、利用者が特別な操作を行う必要はありません。また、確認された結果は表示されません。

※ 卒業や退職などにより Office365 の利用資格がなくなるとライセンス認証ができなくなり、Office365 の利用は継続できません。

ライセンス認証に失敗した場合（機能制限モード）

インターネットに長期間接続されていないなどの何らかの原因でライセンス認証ができなかった場合、Office アプリケーションは機能制限モードに移行します。

機能制限モードの Office アプリケーションを起動すると、製品のライセンス認証が取り消されたことを示すメッセージが表示されます。また、リボンメニューの下のメッセージバーにもライセンス認証が取り消されたことが表示されます。

機能制限モードでは、書類の表示、印刷のみができ、保存などはできなくなります。

ライセンス認証の確認後	Office アプリケーションの動作
30 日以内	通常動作
30 日を過ぎた	Office にライセンス認証を促す警告を表示
60 日を過ぎた	Office は機能制限モードへ移行

ライセンス再認証方法

Office365 の利用資格があるにもかかわらず機能制限モードになってしまった場合は、再度サインインを行うことで制限が解除されます。

利用機器に応じた方法で、サインイン ID、パスワードを入力してサインインし、ライセンス認証を行ってください。

Windows PC の場合

ブラウザで、Office365 のポータルサイトにサインインを行ってください。

サインインに用いる ID とパスワードは、「サインイン ID、パスワード」を参照してください。

Office365 ポータルサイト <https://login.microsoftonline.com/>

Mac PC の場合

Word、Excel などの Office 製品のいずれかでサインインを行ってください。

- ① Word などの Office 製品を開きます。
- ② 画面左上の人物のマークをクリックします。
- ③ サインインの画面が開いたら、サインイン ID、パスワードを順に入力しサインインを行ってください。

Android タブレット、iPad の場合

Word、Excel など Office アプリにてサインインを行ってください。

- ① Word などの Office アプリを開きます。
- ② 画面左下のアクティベーションアイコンをタップします。
- ③ サインインの画面が開いたら、サインイン ID、パスワードを順に入力しサインインを行ってください。

5. 利用資格がなくなった場合

卒業や退職などで利用資格がなくなると、ライセンス認証ができなくなり Office365 の利用は継続できません。その場合でも PC などに保存した作成済みのファイルがなくなることはありません。